

表1 論文の構成

項 目		内 容
表紙	原稿の種類	
	タイトル	端的に内容を表す。
	著者名	著者全員の氏名
	所属名	著者全員の所属（右上付き文字で※1、※2を使い、著者名と対応させる）
	抄録	400字程度（目的・方法・結果・結論に分けて記載する）
	キーワード	5つ以内
	査読やりとりのための連絡先	筆頭者の住所・氏名、電話・FAX・E-mail
	英文タイトル	タイトルの英訳
	著者英語名	著者全員の氏名の英文
	所属英語名	著者全員の所属の英文（右上付き文字で※1、※2を使い、著者名と対応させる）
	抄録	和文抄録の英訳を、400words程度で記載する。
キーワード	キーワードの英訳（原則として小文字使用）	
※英文抄録は、論文の採用の通知を受けた後、専門業者による校閲を受けてから、最終原稿とともに提出して下さい。		
本文	I 緒言（はじめに、など）	背景と目的
	II 方法（対象と方法、など）	対象と方法、倫理的配慮を記載する。
	III 結果	結果は、図・表などを使いわかりやすく示す。
	IV 考察	目的、結果に添い、論理的に矛盾や飛躍がないようまとめる。
	V 結語（結論、おわりに、等）	簡潔に結論を示す。
	謝辞	（必要な場合）
	付記	科学研究費など外部の獲得資金等の一環で行った研究である場合、必要に応じ記載する。
	文献	投稿規程に添って、引用順に示す
図・表・写真	1頁に1枚ずつ作成する。図は、原則として、そのまま掲載できる明瞭なものとする。（タイトルの記載箇所：図と写真は下に、表は上に掲載する。表には縦罫線は使わない）	

表2 「実践研究」の本文の構成

項 目		内 容
表紙	原稿の種類	
	タイトル	端的に内容を表す。
	著者名	著者全員の氏名
	所属名	著者全員の所属（右上付き文字で※1、※2を使い、著者名と対応させる）
	抄録	400字程度（目的・方法・結果・結論に分けて記載する）
	キーワード	5つ以内
	査読やりとりのための連絡先	筆頭者の住所・氏名、電話・FAX・E-mail
英文抄録	英文タイトル	タイトルの英訳
	著者英語名	著者全員の氏名の英文
	所属英語名	著者全員の所属の英文（右上付き文字で※1、※2を使い、著者名と対応させる）
	抄録	和文抄録の英訳を、400words程度で記載する。
	キーワード	キーワードの英訳（原則として小文字使用）
※英文抄録は、論文の採用の通知を受けた後、専門業者による校閲を受けてから、最終原稿とともに提出して下さい。		
本文	I 緒言（はじめに、など）	背景と目的
	II 方法	実践した活動に関する方法と内容ならびに倫理的配慮について記載する。
	III 結果と評価	事業や実践活動の結果やそこから得られた成果について記載する。
	IV 今後の課題と展望	次に行う際の注意点や今後似たような活動をする人たちへのアドバイス等を記載する。
	謝辞	（必要な場合）
	付記	科学研究費など外部の獲得資金等の一環で行った研究である場合、必要に応じ記載する。
	文献	投稿規程に添って、引用順に示す。
図・表・写真	1頁に1枚ずつ作成する。図は、原則として、そのまま掲載できる明瞭なものとする。（タイトルの記載箇所：図と写真は下に、表は上に掲載する。表には縦罫線は使わない）	